

1 はじめに

本校は宮崎市の南西部に位置し、周囲は山間地（南に加江田溪谷や双石山）で豊かな自然環境の中にある。宮崎市街地からは、車で30分であり、山、川、海、市街地が近いという状況から、鏡洲地区への移住者いる。しかし、児童クラブ等がなく共働きの家庭では放課後の子どもの居場所がないとの理由から、近くの学園木花台小学校へ通う児童も多く見られる。

本年度の児童数は25名であり、完全複式指導を実施している。なお本年度は、6年生児童が11名在籍しているため、来年度の児童数が大きく減ることが予想される。児童数減少対策として、「鏡洲小の将来を考える会」を昨年度発足し、特色ある学校づくり及び児童クラブの設置等を宮崎市に要望してきた経緯がある。

2 教育目標等

かしこく 心豊かな たくましい 子どもの育成

めざす児童像

よく考え進んで学ぶ子 礼儀正しく思いやりのある子 ねばり強く体をきたえる子

学校経営ビジョン

「地域とともにある学校」を基盤とし、学校・家庭・地域社会が一体となり、「チーム鏡洲」として協働し、小規模校の強みを最大限に生かし、児童一人一人の「かしこさ」「心のゆたかさ」「たくましさ」を伸ばす教育活動を展開する。

子どもの成長を実感し、信頼される学校をめざす「鏡洲ならではの教育」

3 本年度の取組（◎は、今年度の重点項目）

【確かな学力の向上】

- 基礎・基本を身に付け、意欲的に学ぶ児童の育成
- ◎ ICT等を有効に活用し、児童の学力向上に努める。
 - ① 「めあて」と「まとめ」の整合性のある指導
 - ② 「個別最適な学び」と「協同的な学び」の工夫
 - ③ 習熟の時間の充実

【思いやりと寄り添える心の育成】

- 思いやりをもち、人の心に寄り添える児童の育成
 - ① 基本的な生活習慣の徹底と自己実現
 - ② 生徒指導の三機能を生かした教育活動を展開
 - ③ 集団体験活動を通しての人間関係作りの構築

【体力向上と健康な体づくり】

- 体を鍛え、望ましい食習慣と健康安全に留意する児童の育成
 - ① 基礎体力の向上
 - ② 食育の推進(弁当の日と食事マナーの指導)
 - ③ 保健・安全教育の徹底

【ふるさと教育の推進】

- 鏡洲を愛し、鏡洲を誇りに思う児童の育成
 - ① 特色ある教育活動の推進
 - ② ふるさと教育の推進
 - ③ 学校を拠点としたふれあい活動（地域住民との交流）の充実

4 おわりに

宮崎市内にあって、極小規模の学校である本校は、職員も少なく担当する業務が多岐にわたっている。しかし、各種の研究会からの人員派遣要請は、大規模校と同じように求められる。また、完全複式指導を行っているが、本年度市内の学校からの転校生があり、履修していない内容があるなどの弊害がおこっている。小規模学校においては、どの学校も直面する課題であるが、管理職を含め職員全員で知恵を出し合い、児童が楽しく学校に来ることができるように、日々の指導を行っている。一部の職員に負担が偏ることのない学校運営を目指し、日々研鑽に努めているところである。これからも、小規模校のよさを生かした学校運営を行っていきたいと考えている。